

こども意見聴取の実施結果について

1. こども意見聴取の趣旨

主に学校教育に関する施策の対象である児童生徒の意見を聴取し、次期教育構想の検討に反映させていくことを目的として、次のテーマについて、こども意見聴取を実施した。

2. 検討及び意見交換のテーマ

【テーマ①】 みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには何が必要か

【テーマ②】 将来のために学びたいことや身につけたいこととその理由

3. 実施概要

(1) 児童生徒意見交換会

- ① 実施日時 令和7年8月19日(火)
- ② 参加者 市立小中学校児童生徒 10名
- ③ 内容 上記テーマごとに、児童生徒同士でグループワークを行い、各グループでまとめた意見を発表した。

(2) WEB アンケート

- ① 実施期間 令和7年8月15日(金)～令和7年9月5日(金)
- ② 対象者 小学校1年生～中高生年代
- ③ 回答者 合計 92名 (年齢ごとの内訳は右表のとおり)

	全体	小学校 1～3年生	小学校 4～6年生	中高生年代
回答者数(人)	92	45	30	17

4. 実施結果

実施結果については、次頁「こども意見聴取にかかる主な意見一覧」のとおり。

こども意見聴取にかかる主な意見一覧

設問	主な意見の種類	WEBアンケート			児童生徒意見交換会
		小学校1～3年生	小学校4～6年生	中高生年代	
みんながより良く暮らしていくために、お互いの違いを理解するには何が必要か					
1	自分を受け入れる	・自分を大事にすること ・自分のことを良く理解すること	・自分のことを周りにしっかり伝えていくこと ・興味や好奇心に合わせた学び方を認めてもらえると、ありのままの自分を大切に思えるし安心して過ごせる。 ・自分のことを周りにしっかり伝えていくこと	・自分も人とは違うところはあるけれど、それは自分だけの個性で、他の人にも個性があり、どれも守るべきものという認識を持つこと	・自分の個性を大事にすること ・自分のことを理解すること ・人を認める前に自分の個性を認めることで、互いを理解できる。
2	他を認める	・相手のことを知ること ・相手の立場に立って考える。 ・色々な人のことを知って、相手の良いところを認めること ・色々な国の文化、伝統を知って、それぞれの違いを分かっていること	・お互いを否定しないこと ・お互いの個性を認めて仲良くすること ・長所と短所を認め合って助け合うこと ・違いを理解するための勉強をすること	・自分の意見と違う意見を見つけても、まずは批判より相違点を見つけ、その意見がどのように自分の意見と共存できるかを考えること ・互いのことを知るために話し合うこと ・思いやりと会話、助け合い	・互いを理解すること ・尊重すること ・違いを認めること ・基本的人権を守ること
3	コミュニケーションや交流を大切にする	・色々な人と話す、毎日挨拶をすること ・人の話をしっかり聞くこと ・自己紹介をして自分の特徴を教えること	・自分の意見や考えを気軽に言える場を作る。 ・コミュニケーション。自分を分かってもらったり相手のことを話してもらって違いを楽しめたい。 ・総合などの授業でロイロノートなどを使い情報を共有しながら学習すること	・お互いを知ることが必要であり、学年などを超えて交流できる場があれば良い。 ・まずは話を聞くこと、お互い聞く姿勢を保つこと ・学校の勉強以外にも課外活動などに参加しさまざまな経験をする	・グループ活動などコミュニケーションの場を増やすこと ・人と違うことを意識して話し合うこと ・あえて人と違うところを探してみる
4	その他	・思いやり ・相手の気持ちを考える優しさ ・みんなが他の人を敬える環境	・優しい気持ち、心遣い ・信頼や友情 ・障害がある人、お年寄り、妊婦さん等が普段どんな感覚で生活しているかを体感すること ・ユニバーサルデザインの場所を増やすこと	・幼い頃から、様々な違いを持つ人々の情報もごく当たり前のようにならなくていいこと ・先入観・偏見をなくすること	

こども意見聴取にかかる主な意見一覧

設問	主な意見の種類	WEBアンケート			児童生徒意見交換会
		小学校1～3年生	小学校4～6年生	中高生年代	
将来のために学びたいことや身につけたいこととその理由					
1	自国・異国文化理解	・外国でダンスを教える仕事をしたいため、英語を話す、うまくダンスを踊れて教えられるようになりたい。 ・科学者になりたいため、外国語の勉強をしたい。	・観光ガイドになりたいため、英語や社会(特に名所や観光地などを)勉強したい。	・グローバルに活躍するために生きた英語を学びたい。英語が理解できれば、世界中のニュースを読む聞くことができるし、多様性を理解できるから。 ・これからは世界と対等に話し合うことが大切だから、英語を身に付けたい。 ・国連職員になるために、英語力の向上やボランティア活動を頑張っている。フランス語・スペイン語などの言語を学びたい。	・外国の文化や行事を知ることで、自分たちの文化や行事の良さに改めて気づける。ただし外国の文化を深く知るためには、言語力も必要 ・英語は大事だと思う。英語によって世界中のたくさんの人々と会話をすることができる。また、英語だけではなく、英語以外の言語も学んでみたい。
2	表現・コミュニケーション能力	・一緒にいて楽しい人に囲まれて自分のしたいことをしたいため、お友達をたくさん作ってみんなの良いところを見つける。 ・保育士になるために人に優しくできるようになりたい。そのために、地域の人と交流したり、地域の人のための活動をしたい。	・みんなと関わって色々楽しく暮らしたいから、人との関わりを大切にしたい。 ・人とのコミュニケーションは必要だと思うため、コミュニケーション能力が学べる場所が欲しい。	・初対面の人とも明るく話したいため、コミュニケーション能力を身に付けたい。	・いろんな人と話す機会が増えていくので、コミュニケーション力については必須。言語力も必要だが、聞く力、伝える力も身に付けたい。 ・自分の考えや思いを伝えられるようになりたい。 ・人脈を身に付けたい。何かをするにはいろいろな人の支えが必要だと思う。
3	思考・問題解決力		・みんなが笑い合える世界にしたいため、「戦争をしないためどうすれば良いのか」「みんなが笑い合える世界にする為にはどうすれば良いのか」などいろいろなことを考えられる頭の良さを身に付けたい。 ・学ぶ意欲を保つためにも卒にとらわれず学年や学校をまたいで学ぶ機会がほしい。	・どんな仕事でも楽しく過ごしたいため、様々な物事を楽しむ力を身に付けたい。	・自分で考える力を身に付ける必要がある。AIにばかりたより過ぎない。
4	社会・経済・環境の理解	・科学者になりたいため、理科を勉強したい。 ・水族館の飼育員さんになりたいため、魚や、サメなどの海の生き物の事を勉強したい。 ・獣医さんやイラストレーターになりたいため、理科や国語の勉強を頑張りたい。	・生物学者になりたいため、生き物についての知識をたくさん身に付けたい。 ・弁護士になりたいため、学校の勉強をする。 ・農家になりたいため、植物について色々知りたい。 ・ユニバーサルデザインの建物や遊具などをデザインしたいため、障害者が何が困っているかを知りたい。		・地域の人脈も知りたい。地域の魅力や課題を考えることにもつながる。 ・環境問題について考える必要があると思う。身近な問題から考えるのもいい。地域のことを知ることにもつながる。 ・投票率の低下のニュースをみて、若い人には政治や選挙、投票などの正しい知識を身に付けてほしいと感じた。
5	実生活・情報科学・テクノロジーの知識とスキル	・漫画制作、建築デザイン、ロボット制作、ゲーム制作がしたいため、AI学習をしたい。 ・ロボットを作りたいため、鉄や電気の研究をしたい。 ・発明家になりたいため、プログラミングを勉強したい。	・好きなことを続けていける生活をしたいから、仕事と好きなことのメリハリをつけるため、時間の管理の仕方を身に付けたい。 ・YouTubeユーザーになりたいため、パソコン、イラストの勉強をしたい。	・税務署で働きたいため、「税」に関する知識を身に付けたい。 ・生活に役立てるために、法律について学びたい。 ・自立して生きていたいため、ストレスの対処法を勉強したい。 ・音楽が好きで、それに関係することをやってみたくため、歌や楽器の練習をしたい。 ・今の時代PCを手足のように使えるとものすごく便利だろうから、タイピングスキルを上げたい。	・技術を知り、その活用について考えることも必要だが、メディアリテラシーも重要。インターネットの使い方などトラブルに巻き込まれない使い方は必要。 ・活用するためにプログラミングやテクノロジーを理解する等、情報や技術を活用する側にもスキルが必要。
6	健康・自己管理	・自衛隊員になりたいため、早寝早起きできるようになる。 ・スポーツ選手になりたいため、暑くても校舎工事中でも日々ちゃんと学校で運動する。 ・プロバスケットボールプレイヤーになりたいため、体力をつけてちゃんと勉強したい。	・陸上選手になりたいため体力をつけたい。 ・ラグビー選手になりたいため、ラグビーの練習も頑張りたい。		